

2 目標達成計画

事業所名 グループホームさくら荘

作成日 令和3年10月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1123	働きやすい職場環境づくり。ご入居者様と職員とが家族に近い雰囲気と一緒に過ごせるような関係作り。	職員が気持ちに余裕を持って業務に取り組める環境を作ることで、ご入居者様へのケアをより良いものにしたい。	管理者、各階主任とのコミュニケーションを密にし、課題解決について語り合う場面を設け、実践にうつしていく。上役だけの意見交換とにならないように他の職員の意見にも耳を傾ける。	令和3年度
2	2333	ご入居者様の介護度が重度化し、看取りケアを行う機会が多くなってきているため、職員が不安を抱えている。	ご入居者様、ご家族の希望に寄り添えられるように、職員の看取り介護への意識統一を図りながら、さくら荘での看取り介護に取り組んでいきたい。	ご入居者様の状態に応じて、往診クリニックに主治医を変更し看取りケアに対応できる医療体制を作る。ご入居者様の死に対する職員の不安を取り除くため勉強会等をその都度実施し、意識統一を図る。	令和3年度
3	2023263033	コロナ禍において、ご家族様とご本人と会う機会が減っている。そのため、特にご家族様のご入居者様への意向確認が困難となっている。	地域の感染状況に応じて、面会制限の緩和を図り、感染対策に力を入れながら、極力対面での面会が行える環境を整えたい。面会時にご家族様の意向を確認し意向に沿った計画を立案していく。	感染状況悪化時にはオンライン面会等も行いながら、ご家族様とご入居者様との心の距離が遠くならないように事業所側から積極的に発信していきながら今後のケアについての意向確認にも繋げていく。	令和3年度
4	2049	コロナ禍において外出支援、地域交流が困難となっている。	ご家族様、ご入居者様が一緒に外出するということは現状の感染対策として困難であるため、職員同伴にて密にならなうような公園などに外出する機会を設けて、季節感を味わっていただきたい。	感染症対策を行いながら、個別に初詣、花見、コスモス鑑賞などの外出の機会を計画、実施する事でご入居者様に季節感を味わって頂くことと、気分転換にも繋げていく。	令和3年度
5	35	近年の異常気象に備えての災害対策の継続	各職員への災害に対する意識を高めたい。いざという時に慌てずに行動できるように訓練したい。	地震、火山噴火が起きてのグループホーム火災想定訓練を実施する事で職員の災害に対する意識向上を図る。備蓄品を切らさないよう定期的な点検を継続的に行う。	令和3年度